株主との対話

■株主・投資家の皆様との対話の考え方

□当社は、企業価値ひいては株主共同の利益を確保し、向上させる観点から、
株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を重視しております。

株主総会、決算説明会、個別面談等を通じていただいた貴重なご意見は、経営方針等に反映し、
改革アクションプランの実践やそのアップデート等を通じて、成果に結びつくように努めております。

□株主・投資家の皆様との対話の内容は随時、経営陣に報告し、取締役会でも共有しています。

■2025年4月～6月の株主・投資家との対話

□面談社数：51社

□面談件数：61件（内SR面談の24件は、いずれもマネジメントが出席）

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

株主との対話：株主・投資家の「声」と当社の「対応」

■声　：**改革アクションプラン**：目標達成に向けた具体策を示してほしい。

対応：**「ROE8％以上の達成」へ利益の拡大を図り、企業価値を向上させPBRの上昇につなげるべく、9月末から第2四半期決算発表時を目途に、バランスシートの在り方や事業構成等、全体の方向性に関する発表を目指します。**

■声　：**都市開発・観光事業の扱い**：株主価値や税制面なども考慮しながら、検討してほしい。

対応：**中長期的な企業価値の向上と株主共同利益の最大化の観点から、さまざまな選択肢を取締役会等において検討しています。**

■声　：**政策保有株式の縮減**：スケジュール感を知りたい。

対応：**保有意義や資金需要等を総合的に勘案し、4月の195億円縮減に続き、継続的な実施を想定しています。**

■声　：**自己株式取得**：業績回復を前提に2029年度までに1,000億円超を想定とのことだが、具体的な予定は。

対応：**資本収益性の改善と株主還元に資することであり、引き続き前向きに進めて参ります。フジテレビの広告収入の回復が見えてきたことから、運転資金、成長投資等とのバランスを勘案しつつ、適切な資産配分の観点から、実施に向けて時期や規模等の検討を開始しました。**

■声　：**成長投資**：5年間で2,500億円規模の想定とのことだが、 その考え方は。

対応：**全体の半分以上を、メディア・コンテンツ事業とその周辺領域に投資することを考えています。残りを都市開発・観光事業*、人的資本、DX等に投資する方向です。投資対象、規模、スケジュール感、投資資金の調達方法等は、改めて発表予定です。**

*投資額から回収額を差し引いた金額の5年分想定。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.